



森のなかま

2026年 1月号

NO. 211 (継続356号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 黒川 敏史

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

かながわ森林インストラクターの会の皆様

理事長 黒川敏史

昨年は、県民参加の森林づくり、ネットワーク企業・学校 などのインストラクター募集に積極的に応募いただき、また安全に参加者の満足をもらいながら活動を完了していただき、ありがとうございました。引きつづき来年もよろしくお願いします。

我々を取り巻く状況を見てみると、企業の SDGs 活動による CS（顧客満足）のために森林活動にニーズが高まっており、神奈川県森林再生パートナー企業数は 62 に達しており、2023 年からの 3 年で 24 団体が加わりました。主にこのパートナー企業の環境保全活動の要望が神奈川県一かながわトラストみどり財団一かながわ森林インストラクターの会と経由して皆様インストラクターの出動となるわけで、皆様の活躍がますます期待されています。

4 月からは、活動実費値上げが認められ、皆様にお渡しできる金額が 4500 円になります。会の収支は厳しい状況ですが、IT を使って管理業務の合理化を図っていく取り組みもしており、いろいろ慣れないこともあるかも知れませんが、ご協力よろしくお願いします。

さらに「森と人をつなぐ」森林インストラクターとして、都市部の人たちに森林に興味を持ってもらう使命もありますので、関連した新しい取り組みも徐々に増えていきます。

よろしくお願いします。

日本触媒・湯河原万葉の森 「自然共生サイト」に認定

日本触媒の森事業部 9 期 内野ミドリ（前事業部長）

この度、大変嬉しい報告をいただきましたのでお知らせいたします。

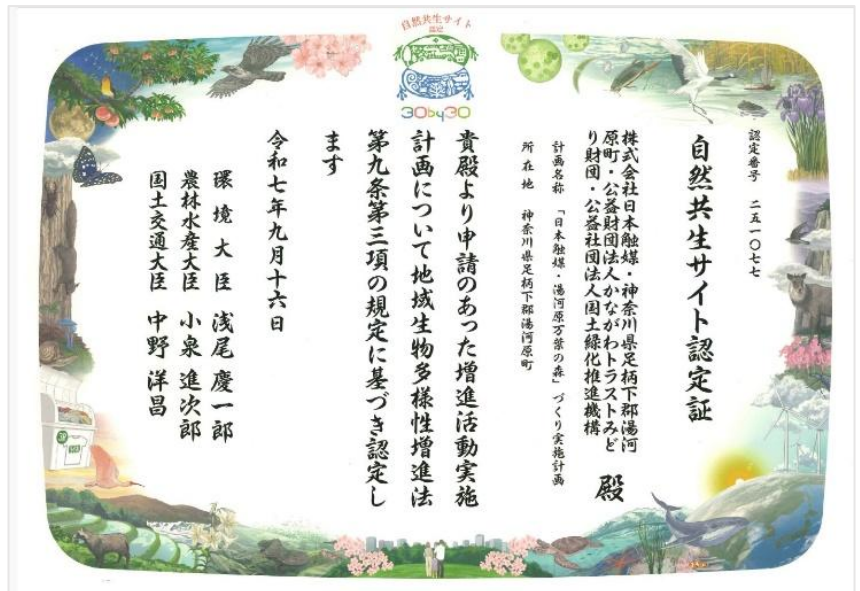
当会が公益財団法人かながわトラストみどり財団との業務委託契約に基づき活動している日本触媒・湯河原万葉の森（以下湯河原万葉の森）が環境省の「自然共生サイト」に認定されました。「自然共生サイト」とは、民間の取り組み等により生物多様性の保全が図られている区域を指し、株式会社日本触媒様が申請をされていました。

2012 年から活動を開始した湯河原万葉の森は、1 年間の準備期間において、2013 年 11 月に大勢の社員さまと関係者さまをお迎えして開所式をおこない、本格的な活動を始めました。地元も「湯河原初 企業が育てる森」と企業ボランティアによる育林に大きな期待を寄せていました。

活動の概要は、次の通りです。

- ・湯河原町所有の人工林で標高 300m～700mにあり主にヒノキの育つ森
- ・社会貢献活動の一翼
- ・豊かな森を育てるとともに、森に親しみ、ふれあいながら自然環境を学ぶ場として活用

これらの目標に沿って、当初は人工林内で定点調査地（20m×20m）とコドラート（2m×2m）の調査などを中心に、30 年生以上になったヒノキの間伐、林内の散策コースの選定と整備・植物相調査、林内に流れる沢の整備などをおこない、湯河原万葉の森ならではの発見が多くありました。その後、センサーカメラを設置し野生動物の調査も始めました。活動ごとに出会えた動植物を記録していたので、その資料を基に 2016 年 3 月に「日本触媒・湯河原万葉の森 花ごよみ」を、2019 年 5 月に植物 120 種、いきもの 43 種を掲載した花ごよみの増補改訂版を発行しました。その後も新出の動植物を記録中です。



年 3 回（春・夏・秋）の体験活動（現在は春・秋の 2 回）に参加される方々が、安全に楽しく活動されるように、環境の保全と林内整備にも力を注ぎました。特にコロナ禍の間は、活動エリアを巡回しながら環境の保全と林内整備を続け、新規に希少な動植物を発見しました。メンバーの気持ちは一丸となって、開所記念に植栽した少花粉スギ、2 年目に植栽した広葉樹（クヌギとコナラ）の保育活動と、10 周年記念に植樹するために活動エリア内で芽を出した広葉樹の実生を苗畑で育てていました。

生物多様性を意識して活動を継続していたわけではありませんが、「安全に楽しく森に親しんでいただくこと」を常に考え続けていたことが「自然共生サイト」の認定に役立ったことは嬉しく思います。湯河原万葉の森の活動に参加された多くの先輩方や仲間たちと、この喜びを分かち合いたいと思います。この活動で、調査と整備の各リーダー的存在で牽引してくださった二人から、「自然共生サイト」認定にコメントを寄せてもらいました。

「自然共生サイト」に認定されたのは喜ばしい限りです。他と変わらない普通の森でしたが、力を合わせて地道な調査・整備を続けることで様々な発見をし、豊かな森が育まれているのだと思います。さらなる発展を目指しましょう。＜9 期 女川 修＞

経路補修は、社員や家族特に子供たちが安全に使いやすいよう部分的ではあるが実施し、材料は自然環境を考慮し現地内の間伐材を使い結束するものは金物類を極力さけ、地形に合うよう安全に雨水対策も配慮し作業実施したことが印象に残ります。今後も継続して補修作業を行う必要があると思います。

＜9 期 辻村 寿＞

今年度から事業部長を後任に引継ぎ、新たなメンバーも加わってフレッシュな活動を展開しています。10 周年記念に植樹した広葉樹が紅葉の美しい森へと成長する様子を見守りたいと思います。

(写真：2022.11.19 秋季体験活動 散策 A コース自然観察)



森の案内人☆特別企画 やどりきの森へ行こう
第 2 回：溪流散策とやどりきの成り立ち ～水源林の成り立ちを探ってみよう～

日時：令和 7 年 10 月 4 日(土) 8:30～15:00 小雨

場所：やどりき水源林

参加者：22 名

講師：中村俊文先生（神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員）

インストラクター：L 水口⑨、上宮田⑪、藤井敏⑭、広浜⑰、藤田⑰

第 2 回やどりきの森へ行こう「溪流散策とやどりきの成り立ち ～水源林の成り立ちを探ってみよう～」を実施しました。

当日はあいにくの小雨模様となり、準備していた小雨バージョンのプログラムに急遽変更しての実施でした。雨が弱い朝のうちに、滝郷ノ滝と河原を散策し、本格的な雨の予報が出ていた午後は休憩棟で講義としました。

まず 1, 2 班が滝郷ノ滝に、3, 4 班は広場で自然観察です。滝郷ノ滝では「滝はなぜできるのか?」「岩肌の赤いのは何なのか?」という話を中村先生から伺いました。滝郷ノ滝の岩は概ね白っぽい色をしており、流紋岩質の岩だろうということでした。広場では香り始めたカツラの木や、アカエゾマツの皮がむけているところに鹿の毛がついているところなどを観察しました。



滝郷ノ滝



広場でオリエンテーション

次に溪流散策で「河原を少し歩いて流れ沿いにある大きな岩 3 つをよく観察して歩いてください」という先生の声掛けで、みんなでじっくりみながら歩きました。これらの岩は、白っぽい岩の中に角ばった黒っぽい石がいくつも入っているような様子をしていました。角ばっているのは河原の石のように摩耗する間もなく、黒い石が割れた直後に白っぽい流紋岩質の火砕物に巻き込まれた火山砕屑岩といってよいのではないかとということでした。

雨が気になるので溪流散策は早めに切り上げ、林道コースを歩きます。経路沿いでは緑がかった色をした石が多くみられました。これらは主に火山礫凝灰岩と呼ばれる火山の噴火の噴出物が固結したものだそうです。林道コース終点地で沢に下り、大きな枕状溶岩の観察です。枕状溶岩は海中でマグマが爆発せず固まった岩で、丸みを帯びた形をしています。今の丹沢は山地ですが、遠い昔に海の中で生まれた火山であることがわかる証拠であることの説明を受けました。



中村先生

溪流散策 大きな岩の前での説明



午後は、室内で丹沢の成り立ちについてのプロジェクターを使って講義をしていただきました。「1700 万年前頃に海底火山が噴火し海底に溶岩や火山砕石物が堆積し、フィリピン海プレートの北上により 800～500 万年前に本州に衝突し、本州の一部となった。また、500 万年前頃に大規模な花崗岩質マグマが丹沢地塊に貫入・固結、このときの熱・圧力による変成岩が現在もたくさん見られる。」など、さまざまな話をわかりやすくお話して下さったので、参加者のみなさまも熱心に聞きっていました。休憩棟の外には、先生のコレクションからいくつかの石を置いてくださり、講義後の短い時間ではありましたが、解説もしていただきました。

普段はあまり気にしない石や岩でしたが、触れたり話を聞いたりしたことで、見方が変わった時間になったのではないかと思います。
(記 藤田 あずさ⑰、写真 内田 祐子⑰、渡辺 友美⑱)

活動短信

今回の掲載はR7 年 11 月 1 日からR7 年 11 月 16 日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

1月(睦月)(旧暦 12 月 師走)の
二十四節気、七十二候、鳥こよみ

小寒 1/5 大寒 1/20、雪下出麦(ゆきくだりてむぎいづる 12/31~1/4) 降り積もる雪の下で麦が芽を出す頃。雪の下は意外と暖かいです。鳥こよみ: 黒いベレー帽に赤い頬。頬が赤いのは雄。ころっとした体型も愛らしいウソ(鶯)は、鳴き声が口笛(古語でオソ)に似た鳴き声が名前の由来。木彫りの鶯を交換しあう鶯替えは、鶯が嘘に通じることから、前年の災厄を嘘として本年は吉となることを祈念する神事です。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
送付先は最終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名 等

日付: 令和 x 年 x 月 x 日(曜日) 時間、天気
場所: 例 相模原市緑区 長竹承継分収林
参加者: 人数
県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財 (公財) かながわトラストみどり財団、看 看護団
ス 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
イ インストラクター① (○数字: 期) 研 研修枠
活 活動内容: 例 午前 間伐、午後 クラフトと自然観察
写真、活動詳細も受け付けます(任意)。

◆ アマノ株式会社様 間伐作業

日 令和 7 年 11 月 1 日(土) 10:00~13:00 晴れ
場 相模原市緑区 長竹継承分収林
参 23 名(大人 19 名、子供 4 名)
県 水源環境保全課 水源事業グループ 星様、熊谷様
イ L 牧石⑭、井出①、上田⑩、松石⑬、田島⑰、森本⑰
活 午前 間伐

◆ TJAS 森林再生ボランティア活動

(月島 JFE アクアソリューション株式会社様)

日 令和 7 年 11 月 2 日(日) 10:00~15:00 晴れ
場 県立 21 世紀の森
参 29 名(大人 27 名、幼児 1 名) ※大人 1 名、幼児 1 名
は見学
県 水源環境保全課 長井副課長
イ L 森本⑰、岩田⑭、牧石⑭、鈴木⑱
活 午前: 間伐作業、午後: 自然観察

◆ 小田原市森林組合「民家の学校森林講座」

日 令和 7 年 11 月 2 日(日) 9:00~13:30 曇り
場 小田原市いこいの森
参 24 名
ス 小田原市森林組合佐藤様
イ 三浦⑰
活 午前 間伐

◆ 豊かな森林づくり事業 畑引山地区町有林植栽

日 令和 7 年 11 月 4 日(火) 8:00~12:00 晴れ
場 箱根町箱根字畑引山 381-4 町立森のふれあい館周辺
参 50 名(大人 5 名・小人(箱根中学一年生) 45 名)
ス 箱根町
イ L 石原⑧、野牛⑧、堀口⑯、内田⑰
活 森林レクチャー・植栽体験

◆ 県民参加の森づくり活動 間伐

日 令和 7 年 11 月 5 日(水) 8:30~15:00 曇り
場 箱根町畑宿(県有林)
参 73 名(一般参加者)
財 古舘様 志村様 看 佃様
ス 小田原市森林組合 2 名様
イ L 滝澤⑤、齋藤⑧、内野⑨、上田⑩、上宮田⑪、
西出⑫、牧石⑭、鈴木⑭、石垣⑮、小林⑯、小池⑰、
内田⑱、大川⑱、佐伯⑱、鈴木⑱、田中⑱
活 間伐(午後・箱根高原ホテルにて温泉入浴)

◆ 日揮パラルテクノロジー株式会社様
ミッション研修

日 令和 7 年 11 月 7 日(金) 10:00~12:00 晴れ
場 やどりき水源林
参 44 名
財 志村様
イ L 石垣⑮、鈴木⑭、牧石⑭、久次米⑯、
内田祐子⑰、藤田⑰、内田千春⑱、藤巻⑱
活 午前 林道散策 31 名 / リース作り 13 名

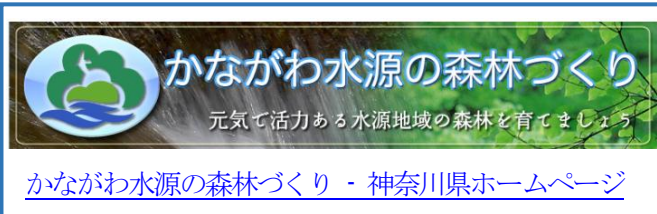


かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

◆ チューリッヒ保険会社様

チューリッヒの森 森林再生活動

- 日 令和 7 年 11 月 8 日 (土) 10:00~14:00 曇り
 場 やどりき水源林
 参 52 名 (大人 41 名 子供 11 名)
 県 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
 町田主査
 イ L 岡村⑩、菊地①、西出⑫、大谷⑬、小国⑭、指澤⑮
 活 ツル切り、自然観察とドングリクラフト



◆ 株式会社日新・森林再生パートナー活動

- 日 令和 7 年 11 月 9 日 (日) 10:00~14:00、雨
 場 やどりき水源林
 参 参加者 32 名
 イ L 藤田⑬、西出⑫、石垣⑮、田島⑯、野口⑰、指澤⑮
 活 午前 自然観察、午後 丸太切り体験、自然観察

◆ 大和市立北大和小学校 木育体験教室

- 日 令和 7 年 11 月 10 日 (月) 10:00~14:30 晴れ
 場 大和市立北大和小学校 体育館
 参 222 名 (2 年生児童 115 名 保護者 107 名)
 ス 学年委員他 10 名 担当教員 5 名
 イ L 石垣⑮、末原⑮、中村⑯、松浦⑯、伊藤⑱、大川⑱
 活 午前 竹切り準備、午後 竹クラフト
 (5 クラス交替で ①竹切り②竹にペイント・リボン付け ③森のクイズ ④ 輪投げ を体験)

◆ 横浜市立永谷小学校 間伐体験

- 日 令和 7 年 11 月 12 日 (水) 10:45~12:00 晴れ
 場 宮ヶ瀬湖畔園地内 千年樹植樹地
 参 こども 63 名、大人 10 名
 財 みどり森林課 倉野様
 イ L 小国⑭、松石⑬、野牛⑧、伊藤⑱、田中⑱、川島⑱、繁山⑱
 活 間伐体験、林内整備

◆ 日本ヒルティ様 森林再生活動

- 日 令和 7 年 11 月 13 日 (木) 10:00~14:30 曇り
 場 県立 21 世紀の森
 参 15 名
 県 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課水源事業
 グループ 星様 熊谷様
 イ L 石垣⑮、西出⑫、牧石⑭、小林⑱、鈴木⑱
 活 午前 間伐、午後 枝打ち

◆ 神奈川県内広域水道企業団様

令和 7 年度森林づくり活動

- 日 令和 7 年 11 月 14 日 (金) 10:00~15:00 晴れ
 場 千代の沢園地、世附水源公有林
 参 20 名
 県 水源環境保全課 野口技師、星主事
 イ L 森本⑰、上宮田⑪、前田⑪、角石⑮
 活 午前 自然観察、午後 間伐



◆ かながわ木づかいフェア (象の鼻パーク会場)

- 日 令和 7 年 11 月 15 日 (土)、16 日 (日)
 10:00~16:00、各日 晴れ
 場 象の鼻パーク (横浜市中区海岸通り 1)
 参 453 名 (11/15: 154 名、11/16: 299 名) /
 「木のいろ」扱い分を含む
 イ 11/15 (土) L 森本⑤、菊地①、安部⑤、小笠原⑩、内田⑱、川口⑱
 11/16 (日) L 森本⑤、安部⑤、大原⑬、小野⑮、田中⑱
 財 11/15 豊丸課長、11/16 倉野様
 協 11/15・16 「木のいろ」福本様ほか 2 名
 活 水源事業 PR: 紙芝居・クイズ・水源涵養機能実験、葉巻笛、文字クイズ、森林探訪ガイドブック販売
 「木のいろ」: 木工クラフト
 (レーザー加工によるワークショップ)



やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

「森の案内人」 森の案内人は12月～2月はお休み。3月から再開します。

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。

やどりきの森へ行こう！

水源林のミツマタ群生鑑賞のお知らせ

2026 年3月15日（日）★少雨決行

申し込みは上記リンク先から！



森林探訪ガイドブック

好評販売中！

『森林探訪ガイドブック』は、
かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を結集して企画・編集したガイドブックです。

A5フルカラー52頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付きです。在庫がなくなり次第、販売終了となりますので、お早めに購入申込みしてください。定価：相模川以西、相模川以东 各700円（税込）右のQRコードから！



やどりき水源林問合せ：（公財）かながわトラストみどり財団

TEL：045-412-2255 / FAX：045-412-2300

<https://ktm.or.jp/> Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会

<https://www.forest-kanagawa.jp/> Mail: kinst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

森のなかまは過去号もご覧になれます

（ホームページ）<https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
（HP担当：森本 利弘）

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

<広報全般お問い合わせ>

河西 静夫

skasai0618@gmail.com

<電子配信会員向け担当>

小池 宗子

muneko-sakura@outlook.jp

<本誌、別冊原稿送り先>

河西 静夫

skasai0618@gmail.com

小国 一男

ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に2名にお送りください



◇ 編集後記 ◇

★ 先月末、友人と新宿御苑に行ってきました。蘭展と菊展が開催中で、華やかな花々の展示は見応えがありました。ちょうど紅葉も見頃で、銀杏、もみじ、ユリノキ、スズカケがキレイに色づいてました。帰り道に近くの文具屋で、色とりどりの野帳を見つけ、土産に買いました。今週は日暮里に材料を買いに行き、冬場にいろいろなクラフトを作る予定です♪
（長尾晴）

★ 色鮮やかな木々の葉も落葉し、すっかり冬の姿へと移り変わりました。この季節になると厳しい冬の寒さに耐え、春を迎える準備をしている木々の冬芽が気になります。緑色の雄花を付けたヤシャブシ、毛で覆われているヤブムラサキ、3月には綺麗な黄色い花を咲かせるミツマタのつぼみなど、木々ごとに特徴のある冬芽が楽しめます。皆さんも防寒対策して冬の森を散策されてはいかがでしょうか。（森本利）

★ 会員の皆様、活動への熱心なご協力に心より感謝申し上げます。本年も、森林整備の重要性や自然観察の楽しさをより多くの方へ届けるべく、広報活動に注力してまいります。会員の皆様が現場で感じた「森の魅力」や「活動の喜び」こそが、何よりの発信力となります。写真の提供や情報のシェアなど、皆様の温かいご支援をいただければ幸いです。共に森林での楽しい活動の様子を伝えていきましょう。本年もよろしくお願いいたします。（河西）



編集人：河西 静夫

広報部：黒川 敏史、松本 保、
笠原 かずみ、長尾 晴子、小林 照夫、
大友 博道、小国 一男、小池 宗子、
森本 利弘

支援：大原 正志、吉田 郁夫